



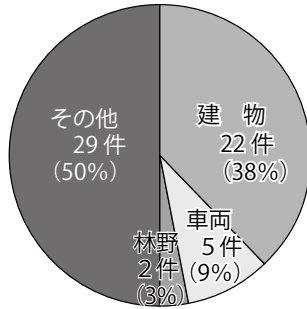
平成23年中の災害発生状況

火災・救急が増えています！



火災

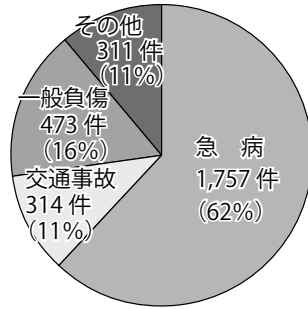
(58件)



前年に比べ26件増加しました。原因別では、たき火が19件と最も多く、次にたばこ、放火又は放火の疑いの順となっています。

救急

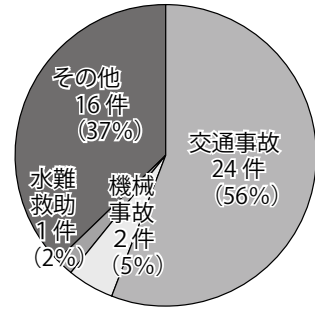
(2,855件)



前年に比べ181件増加しました。種別では急病が最も多く全体の60%を占めており、次に一般負傷、交通事故の順となっています。

救助

(43件)



前年に比べ10件減少しました。種別では交通事故が半数以上を占め、その他として農業機械事故等も発生していますので、運転や取扱いに注意しましょう。

「救急搬送者の50%は軽症でした」

平成23年中の救急搬送者2,704名のうち、約50%は軽症者で、その大半が緊急性のない傷病者でした。本当に救急車を必要とし、「助かるはずの命」を救うためにも、救急車の適正利用をお願いいたします。



高規格救急車配備

勝沼分署



この高規格救急車は、GPSナビゲーションや4WDが装備されており、走行性能が向上しているほか、車両の大型化に伴い車内に広いスペースが生まれたことで、効率の良い救命活動が可能となりました。

また、最新の医療機器（AED、人工呼吸器、患者監視モニター、気道管理器具、薬剤投与セット）が搭載しており、充実した救命処置を行える救急車となっています。